

モニタリング記録票 (R3春・猿島)

調査日：令和3年5月12日（水）9：40～12：40

天候：曇り

気温：18℃（9：00時点）

記録者：自然環境共生課

協力者：三浦半島自然保護の会、猿島公園専門ガイド協会

④ キジョラン

地図に  (青) で図示
食痕がある地点は色を変え図示

コメント：
実を複数発見した。

③ 壁面のシダの様子

壁面上部の倒木・伐木 (有 無)
シダ類以外の植物 (増・減・変化なし)

コメント（その他植物名、日照状態など）：
2年前（R1）の台風で倒木、明るくなった。
そのせいで乾燥しているように思える。
シダがちよっと枯れている。
コケが減った。

② マダケ（広がり方の確認）

地図に  (緑) で図示

前年と比較して変化が (ある・ない)
変化の内容：北端の密だったところなくなった。
一部伐採したらしい。このため、反対側のコケが
なくなった。

① ウミウ

生息確認数： 14 羽 (R2秋：49羽)

コメント（その他の鳥の種名・数など）：
正面5羽、北側の岩壁9羽

・カワウは1年中いる。ウミウとの見分けは難しい。
ウミウは海の上しか飛ばない。
・猿島への船の前をクロサギが2羽飛んだ（東京湾では珍しい）。

⑤ イソギク

地図に  (赤) で図示

イソギクは少し増えたかもしれない。
その他海岸植物：
ラセイトソウ
ハマボス
ツブキ
ハチジョウススキ

⑦ 四層構造の林の様子

種類を記述	高木	中低木	低木	林床	生息する鳥類、昆虫類など： 林にはほぼ変化なし。 数年前、ヤブニッケイを切ったので ギャップができ、その影響でミズキが大きくなった
	タブノキ、スダジイ、イヌビワ、ヤブニッケイ、シロダモ	アオキ、イヌビワ	幼木、アズマネザサ	フウトウカズラ、朽木	

自由記述欄

アレチウリ（特定外来生物）・・・R2秋確認。今後の広がりには注意が必要
三浦半島自然保護の会より「マダケなどが手入れされてきた。コケは減るが種が絶えることはない。植物的にはギャップ（明るく開けたところ）も必要、若い木が生えるから。」「野鳥ではウグイス、メジロ、カワラヒワ、イソヒヨドリが見られた」

⑥ 海岸打ち上げ物

人工物と自然物の割合 = 1 : 9
海藻・海草： 4種類以上
生物の遺骸： 1種類

打ち上げ物の種名と数：
(+：若干、++：十数、+++：無数)
マクサ（テングサ）+++
ハマトビムシ+++
・ハマダンゴムシ 発見できず（人間による海岸清掃の影響、餌となる海藻が少なかったことが原因と推測）。
・今回ハマトビムシが多くみられたが、次に少なくなるかもしれない。
・海岸には紅藻が多く見られ、海の中の状態は良いと考えられる（気候の影響）。

